

地域中核病院の役割を果たすために、外来診療における紹介・逆紹介率向上に努めています。

I 業務体制

1) 外来・手術（平成 29 年度）

	午前	午後
月曜日	新患・再診	手術
火曜日	新患	手術 外来特殊検査 補聴器外来
水曜日	新患・再診	再診 特殊検査
木曜日	新患	手術 外来特殊検査 補聴器外来
金曜日	新患・再診	手術 再診

* 甲状腺がんに対するアブレーションを行っています。

2) 入院

平成 24 年度～ 定床 12

各種手術症例、急性感染症（扁桃炎・頸部膿瘍・乳様突起炎など）、眩暈、睡眠時無呼吸検査

診療スタッフ（常勤）

平成 29 年度 大塚雄一郎、久満美奈子、秋間雄策（4 月～9 月）、船越うらら（10 月～）
（非常勤）嶋田耿子、小林由実、松林理葉、荻州えりも

II 1 年間の経過・総括

千葉市において当院は地域中核病院の役割を果たしております。とくに小児救急を積極的に受け入れており、小児耳鼻咽喉科疾患の緊急症例や小児の手術症例が非常に多いことが特徴です。また病院開設時から新生児科が設置されており、あまり見ることのない新生児難聴や喉頭気管狭窄の症例があることも特徴で、日本耳鼻咽喉科学会から新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査機関に指定されております。これら小児・新生児の耳鼻咽喉科疾患には、症例の蓄積が少ないために指針がない疾患も多く、関係各科・施設との連携が不可欠となります。

平成 28 年度より手術日を増やしていただき、これまで行ってきた内視鏡下鼻副鼻腔手術などは増加しています。また緊急手術も増加しています。平成 28 年度より新たに、顎下腺唾石に対する内視鏡手術、中耳・外耳手術（真珠腫性中耳炎、慢性中耳炎ほか）、外リンパ瘻閉鎖手術、上顎洞腫瘍に対する内視鏡手術（EMMM）、前頭洞に対する内視鏡手術（Draf 3）、頸部郭清術などの手術を開始いたしました。導入当初は症例もほとんどありませんでしたが、近隣の先生方に浸透し症例の紹介も増えています。蓄積した症例は千葉県の学会で積極的に報告して県内の先生方に周知を図っています。

耳鼻咽喉科の領域は成人や慢性疾患にとどまらず、救急科や小児・新生児科に及び、診療範囲が広いことが特徴です。地域中核病院である当院では、これらすべての領域をカバーする必要があります。

それには学会活動を通じた診療水準の向上と情報発信が不可欠です。耳鼻咽喉科に関連する主な学会は19もありすべての学会に参加することは不可能ですが、平成29年度には論文3編と学会研究会で11演題を報告いたしました。また学会で得た新たな知見を積極的に導入しています。

総合的には外来患者数・手術件数とも順調に推移しており、これらは近隣の開業医の先生方のご協力の賜であります。今後も近隣の先生方との連携を通して耳鼻いんこう科の地域医療の充実と発展に努めて参ります。

Ⅲ 手術実績

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
扁桃・ アデノイド手術	141	131	141	149	161	194	297	170
顎下腺唾石手術 (内視鏡・口内法)							15	25
内視鏡下副鼻腔手 術	29	34	40	38	50	51	62	78
鼻中隔矯正・ 下甲介手術	3	3	7	5	9	14	32	45
頸部郭清術							2	3
甲状腺手術	3	16	19	10	7	11	18	11
耳下腺・顎下腺手術	9	5	12	11	5	10	10	13
頸部腫瘍摘出術	15	4	10	6	4	4	13	10
喉頭微細手術	12	17	19	10	7	10	17	17
耳瘻管摘出術	17	8	9	4	10	12	3	11
気管切開	6	5	6	5	5	3	10	15
外耳道手術							1	7
鼓膜形成術							2	17
鼓室形成術	3	5	6	4	0	0	3	10
乳突洞削開術							2	3
鼓膜チューブ挿入 術(全麻下)	76	44	63	78	98	60	58	50
その他(腫瘍など)	7	11	7	10	6	5	14	6
その他(感染・異 物・外傷など)	11	14	10	18	16	18	7	12
計	333	297	349	348	378	392	581	503